
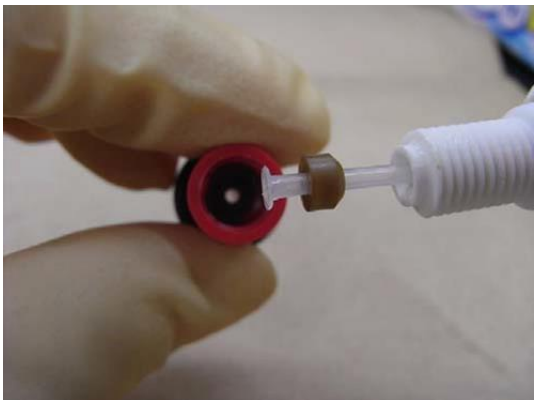

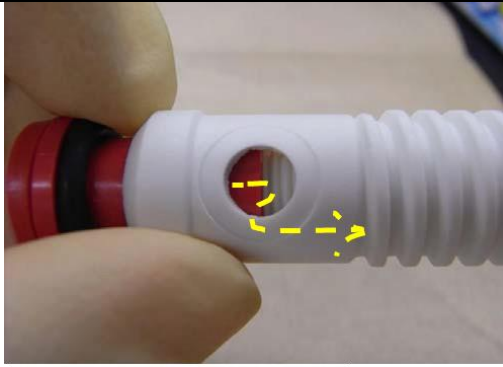


<XK カラムからの液漏れ 原因と対策>

XK カラムでは、O-ring が緩い以外にも液漏れの原因になる箇所があります。

1) プランジャー部分のゆるみ

	<p>プランジャー部分のネジ締め（囲み部分）にゆるみがあると、液漏れが起こります。</p>
	<p>プランジャー内は、平らに加工したチュービングの先端を、プランジャーを締め付けることによりきつく密着させる構造になっています（旧タイプ）。</p>
	<p>新タイプではチュービング加工なしでフェラル(写真中の青いパーツ)により密着させる構造です。</p>







←プランジャーの締めつけが緩い場合、プランジャー内に液があふれ、漏れ出た液がアダプターの丸い穴を通して外側へ出ます（つづく）



（つづき）
O-ring がしっかり締められていれば、液の逃げ道は O-ring よりも上部になります。結果、アダプターの場合は黄色の丸で囲った部分から液が漏れます。

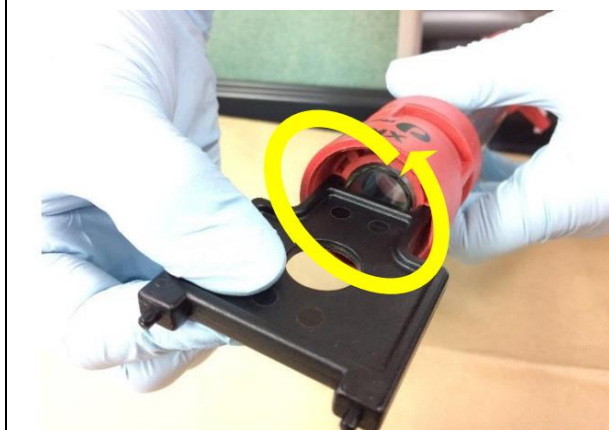
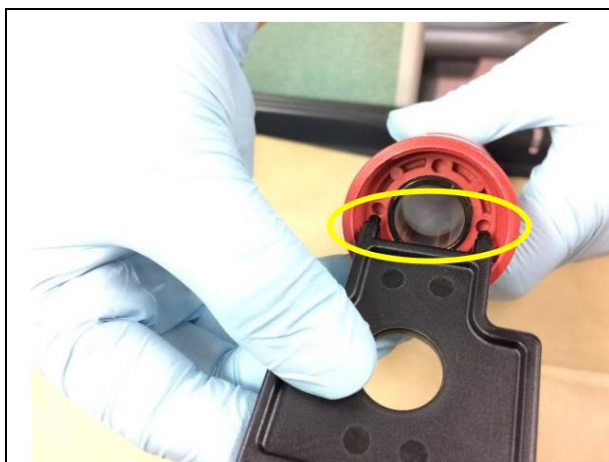
2、プランジャー内チューブフィッティングの不具合

	<p>(旧タイプ) チューブの先端は、この写真のように平たく丸い広がりを持たせるよう加工してあります（フランジ加工） この広がり部分が破損すると、液漏れの原因になります（下記写真参照）</p>
	<p>(破損例)</p>
	<p>新型の場合は、チューブの先端は、切りっぱなしですが、フェラルによってプランジャーと密着させる構造になっています。</p>
	<p>チュービングのカットが斜めだったり、つぶれていたりすると漏れの原因になります</p>

3、ガラス管破損による漏れ

O-ring の締め付け過ぎ（4 項参照）などによりガラス管に割れ、ヒビがある場合には、1~2 の部分が問題なくとも漏れが起きます。

XK カラムや HiLoad カラムに付属するディスマントリングツールを使ってガラス管の固定を外し、割れたガラス管を交換してください。



ディスマントリングツールは、XK16 および XK26 共通のパーツです。

2 か所の突起部分を左の写真のようにエンドピース内リングに合わせて、反時計回りに回します。

4、O-ring の締めすぎによる内筒管破損による漏れ

O-ring は、Adjusting knob を時計回りに回す事により、どんどん押しつぶされて広がる構造になっています。Adjusting knob を回しすぎると、O-ring が広がりすぎて内筒管（ガラス）が割れ、液漏れの原因となります。O-ring の締め付けは、ガラス管に密着する程度でとどめるようご注意ください

	O-ring を締めていない状態（横から）
	O-ring を締めていない状態（正面から）
	↑ O-ring を締めすぎた状態（横から）  破損注意 ここまで締めてしまうと内筒が割れます！
	O-ring を締めすぎた状態（正面から）  破損注意 ここまで締めてしまうと内筒が割れます！

XK 各部名称

